泌尿器科学

1 構 成 員

	平成 26 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	2 人	(2 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	3 人	(1 人)
診療助教	1 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	1 人	
大学院学生（うち他講座から）	1 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	5 人	
合計	14 人	

2 教員の異動状況

- 大園誠一郎（教授）（H15. 4. 16～現職）
- 古瀬 洋（講師）（H14. 7. 1～助手、H19. 4. 1～助教、H22. 1. 1～現職）
- 石井 保夫（講師）（H23. 4. 1～特任講師、H25. 8. 1～現職）
- 大塚 篤史（助教）（H15. 7. 1～助手、H19. 4. 1～現職）
- 永田 仁夫（助教）（H18. 4. 1～助手、H19. 4. 1～現職）
- 杉山 貴之（助教）（H21. 3. 16～医員、H21. 8. 16～診療助教、H23. 4. 1～現職）
- 本山 大輔（診療助教）（H25. 7. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 25 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	13 編	(2 編)
そのインパクトファクターの合計	19.40	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	13 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	6 編	(6 編)

そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数 (うち邦文のもの)	13 編 (12 編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	5 編 (3 編)
そのインパクトファクターの合計	3.53

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 高山達也*, 甲斐文丈, 杉山貴之, 永田仁夫, 鶴 信雄, 古瀬 洋, 伊原博行, 栗田 豊, 麦谷荘一, 牛山知己, 鈴木和雄, 大園誠一郎. : 腹腔鏡下根治的腎摘除術を施行したpT1N0M0腎癌の長期成績. Jpn J Endourol 26:83-6, 2013. [0.00]
2. Otsuka A*, Kawasaki H, Matsumoto R, Shinbo H, Kurita Y, Iwashita T, Ozono S. : Expression of β -adrenoceptor subtypes in urothelium, interstitial cells and detrusor of human urinary bladder. LUTS 5:173-80, 2013. [0.33]
3. 高山達也*, 杉山貴之, 古瀬 洋, 谷島崇史, 鈴木孝尚, 甲斐文丈, 永田仁夫, 大塚篤史, 石井保夫, 大園誠一郎. : 去勢抵抗性前立腺癌に対するドセタキセル治療後の薬物療法の検討. 日泌会誌 104:681-7, 2013. [0.00]
4. Tan C*, Takayama T, Takaoka N, Fujita H, Miyazaki M, Sugiyama T, Ozono S. : Impact of Gender in Renal Cell Carcinoma: The Relationship of FABP7 and BRN2 Expression with Overall Survival. Clinical Medicine Insights: Oncology 8:21-7, 2014. [0.00]
5. Matsumoto R, Otsuka A*, Suzuki T, Shinbo H, Mizuno T, Kurita Y, Mugiya S, Ozono S. : Expression and functional role of β (3) -adrenoceptors in the human ureter. Int J Urol 20:1007-14,2013. [1.747]

インパクトファクターの小計 [2.07]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Motohashi S*, Mino Y, Hori K, Naito T, Hosokawa S, Furuse H, Ozono S, Mineta H, Kawakami J. : Interindividual variations in aprepitant plasma pharmacokinetics in cancer patients receiving cisplatin-based chemotherapy for the first time . Biol Pharm Bull 36:676-81, 2013. [1.657]
2. Ohba K*, Takayama T, Matsunaga H, Matsushita A, Sasaki S, Oki Y, Ozono S, Nakamura H. : Inappropriate elevation of serum thyrotropin levels in patients treated with axitinib. Thyroid 23:443-8, 2013. [4.792]

インパクトファクターの小計 [6.44]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Yoshida A, Fuchihata Y, Kuraoka S, Osano A, Otsuka A, Ozono S, Takeda M, Masuyama K, Araki I, Yamada S*. : Fesoterodine, its active metabolite, and tolterodine bind selectively to muscarinic receptors in human bladder mucosa and detrusor muscle. Urology 81:920.e1-5,2013. [2.424]
 2. Ueda T*, Uemura H, Tomita Y, Tsukamoto T, Kanayama H, Shinohara N, Tarazi J, Chen C, Kim S, Ozono S, Naito S, Akaza H. : Efficacy and Safety of Axitinib Versus Sorafenib in Metastatic Renal Cell Carcinoma: Subgroup Analysis of Japanese Patients from the Global Randomized Phase 3 AXIS Trial. Jpn J Clin Oncol 43:616-28, 2013. [1.783]
 3. Kanie S*, Otsuka A, Yoshikawa S, Kobayashi R, Itaba S, Yokokawa H, Tajima Y, Ozono S, Hayashi R, Mochizuki H.:TRK-380, a novel selective human β 3-adrenoceptor agonist, ameliorates formalin-induced pollakiuria in rats and carbachol-induced bladder contraction in dogs. Urology 82:975.e7-975.e12, 2013. [2.424]
 4. Miyazaki J, Hinotsu S, Ishizuka N, Naito S, Ozono S, Akaza H, Nishiyama H*. : Adverse reactions related to treatment compliance during BCG maintenance therapy for non-muscle-invasive bladder cancer. Jpn J Clin Oncol 43:827-34, 2013. [1.783]
 5. Yoshida A, Kuraoka S, Ito Y, Okura T, Deguchi Y, Otsuka A, Ozono S, Takeda M, Masuyama K, Araki I, Yamada S*. Muscarinic receptor binding of the novel radioligand, [3H] imidafenacin in the human bladder and parotid gland. J Pharmacol Sci 2014; 124:40-6. [2.15]
 6. Okamura K*, Takei M, Nojiri Y, Otsuka A, Takamoto H, Maeda Y, Fujimura T, Yokoyama T, Gotoh M, Homma Y.: Twelve months follow up of injection of onabotulinumtoxinA into vesical submucosa for refractory non-neurogenic overactive bladder. LUTS 2013; 5:55-9. [0.33]
- インパクトファクターの小計 [10.89]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 高山達也, 杉山貴之, 古瀬 洋, 谷島崇史, 鈴木孝尚, 甲斐文丈, 永田仁夫, 大塚篤史, 石井保夫, 大園誠一郎. : 第二回前立腺癌薬物療法研究会記録 : 前立腺がん薬物療法の現状 ; 前立腺がん薬物療法の実際 4.ドセタキセル不応去勢抵抗性前立腺癌 (CRPC) に対する薬物療法の検討. 泌外 26:977-78,2013.
2. 大園誠一郎. : 超高齢化時代を迎え排尿障害をいかに克服するか. 第 35 回浜松医科大学公開講座テキスト「元気で長生きするために-長寿の医学-」 : 32-33, 2013.
3. 大塚篤史, 谷島崇史, 加藤大貴, 田村啓多, 鈴木孝尚, 甲斐文丈, 杉山貴之, 永田仁夫, 高山達也, 石井保夫, 古瀬 洋, 麦谷荘一, 大園誠一郎. : 基礎II: ヒト尿管における β -アドレナリン受容体の発現とその機能について. 日尿結石誌 11:106-108, 2013.

4. 高山達也, 高岡直央, 永田仁夫, 麦谷荘一, 大園誠一郎, 上仁数義, 岡田裕作. : 臨床IV: 原発性高尿酸血症2型の責任遺伝子である GRHPR 遺伝子のスクリーニングにおける地域分布と人種差との関係. 日尿結石誌 11:109-11, 2013.
5. 高山達也, 杉山貴之, 甲斐文丈, 加藤大貴, 永田仁夫, 古瀬 洋, 麦谷荘一, 大園誠一郎. : 第43回腎癌研究会記録集 : Poster Session 3「分子標的薬 (mTOR)」; 3. テムシロリムスを4年間投与した進行性腎細胞癌の1例. 泌外 26 (別冊) :109, 2013.
6. 高山達也, 甲斐文丈, 杉山貴之, 谷島崇史, 鈴木孝尚, 永田仁夫, 大塚篤史, 石井保夫, 古瀬 洋, 大園誠一郎. : 治療開始前の臨床因子による高齢者腎癌の予後解析. 日本老年泌尿器科学会誌 26:85, 2013.
7. 鈴木孝尚, 大塚篤史, 杉山貴之, 高山達也, 古瀬 洋, 加藤大貴, 青木高広, 中西利方, 大園誠一郎. : 後期高齢者における dutasteride の使用経験. 日本老年泌尿器科学会誌 26:107, 2013.
8. 大園誠一郎. : 最新の前立腺癌診療について -前立腺癌診療ガイドラインより-. 第18回静岡健康・長寿学術フォーラム記録集 -超高齢社会を支える健康長寿科学とセルフケア II- 健康長寿社会へのアプローチ:15-6, 2014.
9. 古瀬 洋, 大園誠一郎, 鈴木孝尚, 本山大輔, 杉山貴之, 永田仁夫, 大塚篤史, 石井保夫, 麦谷荘一. : 第6回BCG注入療法研究会記録 : 当科における2nd TURBTの治療成績 泌外 27:382-4, 2014.
10. 永田仁夫, 麦谷荘一, 大園誠一郎. : 上部尿路癌に対する経尿道的手術 : 適応と実際. 日本腎泌尿器疾患予防医学研究会誌 22:13-5, 2014.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 麦谷荘一, 大園誠一郎. : シンポジウム: 尿路結石症ガイドライン -治療について- 尿管結石診断と治療の update. 日尿結石誌 11:34-6, 2013.
2. 佐藤和佳子, 大園誠一郎. : シンポジウム3 : 在宅での高齢者排尿管理・がん患者ケアの向上を目指して ; 司会の言葉. 日本老年泌尿器科学会誌 26:17, 2013.
3. 野畑俊介, 日内地栄子, 木内正太郎, 渡辺めぐみ, 臼田多佳夫, 森 厚嘉, 永田仁夫, 大園誠一郎. : 聖隷予防検診センター人間ドックにおける前立腺がん検診の精度管理の取り組み. 日本腎泌尿器疾患予防医学研究会誌 22:70-2, 2014.

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 古瀬 洋, 大園誠一郎. : 特集 : 前立腺診療ガイドライン・2013年版 -変更のポイントと欧米ガイドラインとの違いについて, 治療を中心に- ; ホルモン療法の変遷について. 泌外 26:793-7,

2013. [0.00]

2. 高山達也, 大園誠一郎. : 特集 1: なぜ必要? どこに注目? 泌尿器科病棟で必要な検査値を理解しよう! ; 6. 尿細胞診. 泌尿器ケア 18:35-7, 2013. [0.00]
3. 大園誠一郎. : 特集 2 : アップデートシリーズ 膀胱がんの治療 ; 1. 膀胱内注入療法. 泌尿器ケア 18:74-6, 2013. [0.00]
4. 大園誠一郎. : 特集/ドクターにお聞きしました : 男性と女性の排尿トラブル. すこぶる 11 月号:6-11, 2013. [0.00]
5. 大園誠一郎. : デガレリクス酢酸塩. 日病薬誌 49:1319-24, 2013. [0.00]
6. 大園誠一郎. : 特集 I . 対がん戦略 : 泌尿器編 ; 腎がん治療の最前線. 遙か 9:13-8, 2014. [0.00]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 大園誠一郎, 古瀬 洋. : II. 基礎知識編 B. 尿路上皮癌の基礎知識 3. 正確な深達度診断のための TURBT の留意点. 笥 善行, 賀本敏行 (編)、実践的泌尿器腫瘍病理診断 -カンファレンス形式で学ぶ-, 中山書店、東京都、pp204-212、2013.
2. 高山達也, 大園誠一郎. : XI 章. 泌尿器科腫瘍学 (総論) : 5. 腫瘍薬物療法学 ; H. 小児の尿路結石症. 吉田 修 (監)、小川 修, 岡田裕作, 荒井陽一, 寺地敏郎, 松田公志, 笥 善行, 羽瀨友則 (編)、ベッドサイド泌尿器科学 改訂第 4 版、南江堂、東京都、pp 1041-5、2013.
3. 大園誠一郎, 高山達也. : I . エッセンシャルアイテム 10. 処置 (下部: 尿道カテーテル留置, 膀胱瘻造設, ブジー). 泌尿器外科 Vol.26 特別号「後期研修医がおさえておきたい泌尿器疾患 TOP30」医学図書出版 (株)、東京都、pp76-81、2013.
4. 大園誠一郎, 篠原信雄. : 第 II 部 泌尿器科腫瘍. がん治療認定医教育セミナー テキスト第 7 版 日本がん治療認定医機構教育委員会、東京都、pp170-6、2013.
5. 大園誠一郎, 杉山貴之. : 第 III 章 分子標的薬の各論 : 1 受容体・シグナル伝達系阻害薬 (小分子化合物) ; 3.mTOR 阻害薬 1) Everolimus. 抗がん薬の臨床薬理、南山堂、東京都、pp487-90、2013.
6. 大園誠一郎, 杉山貴之. : 第 III 章 分子標的薬の各論 : 1 受容体・シグナル伝達系阻害薬 (小分子化合物) ; 3.mTOR 阻害薬 2) Temozolomide. 抗がん薬の臨床薬理、南山堂、東京都、pp 491-3、2013.
7. 大園誠一郎, 古瀬 洋. : 【3】 高リスクの治療 : 4. ホルモン療法単独. 新版 前立腺癌放射線治療のすべて -リスク別アプローチから合併症対策まで-, 金原出版 (株)、東京都、pp243-50、2013.
8. 大園誠一郎. : 第 4 部 臨床との連携 I . 腎癌の疫学. 長嶋洋治, 黒田直人, 松寄 理 (編)、腫瘍

病理鑑別診断アトラス「腎癌」、文光堂、東京都、pp208-15、2013.

9. 高山達也、大園誠一郎：ホルモン療法 (Q57-62). 吉田 修 (監)、大園誠一郎, 荒井陽一 (編) インフォームドコンセントのための図説シリーズ「前立腺がん」改定版 -Q&A で理解を深める基礎と臨床-, 医薬ジャーナル社、大阪府、2013.
10. 大園誠一郎：腎臓・泌尿器系 前立腺肥大症・排尿障害治療薬. 治療薬ハンドブック 2014 薬剤選択と処方のポイント、(株) じほう、東京都、pp764-78、2014.
11. 大園誠一郎、田中宜道：第7章 ガイドライン：前立腺癌診療ガイドライン. 木原和徳 (編)、最新医学 別冊：新しい診断と治療の ABC [49] 前立腺がん-改訂第2版一、(株)最新医学社、大阪府、pp220-7、2014.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 大保亮一、大園誠一郎：XI章.泌尿器科腫瘍学(総論)：2. 腫瘍病理学. 吉田 修(監)、小川 修、岡田裕作、荒井陽一、寺地敏郎、松田公志、笥 善行、羽瀨友則 (編)、ベッドサイド泌尿器科学 改訂第4版、南江堂、東京都、pp474-570、2013.
2. Akaza H, Umbas R, Cheng JC, Chung BH, Gupta N, Hinotsu S, Kim CS, Kwong P, Lee JY, Lojanapiwat B, Namiki M, Ou YC, Ozono S, Serrano D, Gee SH, Song JM, Ye D, Zainuddin Z, Zhu G, Mohler JL. : NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology Asia Consensus Statement -Prostate Cancer- Ver 2.2013. リノ・メディカル(株)、東京都、2013.

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 鈴木孝尚、古瀬 洋、栗田 豊、今西武志、田村啓多、大塚篤史、麦谷荘一、大園誠一郎：集学的治療により長期生存が得られた転移性女性尿道淡明細胞癌の一例. 日泌尿会誌 104: 549-53, 2013. [0.00]
2. 甲斐文丈、石井保夫、永田仁夫、谷島崇史、鈴木孝尚、杉山貴之、大塚篤史、高山達也、古瀬 洋、大園誠一郎：同一ドナーからの持ち込み緑膿菌感染症をきたした献腎移植の2例. 日本臨床腎移植学会雑誌 1:107-10, 2013. [0.00]
3. Takayama T, Nagata M, Kai F, Sugiyama T, Ozono S.: Axitinib controlled metastatic renal cell carcinoma for 5 years. Jpn J Clin Oncol 43:747-51, 2013. [1.783]
4. Takayama T*, Furuse H, Kai F, Sugiyama T, Ozono S .: Temsirolimus controlled metastatic advanced renal cell carcinoma for over 4 years: a case study. Med Oncol 30:563, 2013. [2.140]
5. Suzuki T, Furuse H, Kurita Y, Ushiyama T, Mugiya S, Ozono S, Oki Y.: Laparoscopic simultaneous bilateral adrenalectomy for testosterone-secreting bilateral adrenal tumors. Int J Urol 21:117-9, 2014.

[1.747]

インパクトファクターの小計

[5.67]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 加藤大貴、中西利方、青木高広、大園誠一郎：術前鑑別診断が困難であった腎血管筋脂肪腫の1例. 泌外 26:1737-40, 2013. [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成 25 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 25 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	2 件	(130 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	1 件	(30 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	1 件	(60 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	12 件	(1014 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	28 件	(1851 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

1. 大園誠一郎（代表者）基盤研究（C）、腎癌微少環境のエネルギー産生における FABP7 の機能解明と発癌予防に向けた探索、平成 23 年度～平成 25 年度、平成 25 年度：80 万円（継続）
2. 大塚 篤史（代表者）基盤研究（C）：ヒト前立腺におけるβ3 - アドレナリン受容体の発現とその機能の解明、平成23年度～平成25年度、平成25年度：50万円（継続）

(2) 厚生労働科学研究費

1. 大園誠一郎（分担者）標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発、平成 24 年 10 月～平成 28 年度、平成 25 年度：30 万円（継続）、代表者：九州大学 ARO 次世代医療センター 中西洋一

(3) 他政府機関による研究助成

1. 大園誠一郎（分担者）文部科学省特別経費、光技術を活用した『がん』克服への新たなアプローチによる健康長寿社会の実現「3-5. 光を利用した泌尿器・尿路がんの診断と治療の研究」、平成 23 年度～平成27年度、平成25年度：60万円（継続）、代表者：浜松医科大学メディカルフォトニクス研究センター 簗島伸生

(5) 受託研究または共同研究

共同研究 東レ(株)(継続), 185 万円, ヒト膀胱標本を用いたアドレナリンβ3受容体作動薬の比較検討, 大塚篤史

受託研究 学校法人慶應義塾慶應義塾大学先端生命科学研究所（文部科学省）（継続），136 万円，平成 25 年度科学技術試験研究委託事業「早期診断マルチバイオマーカー開発」（メタボローム解析による血中・体液中心代謝物バイオマーカーの開発），大園誠一郎

- 受託研究 アステラス製薬(株) (継続), 135 万円, 女性過活動膀胱患者に対するミラベグロンとイミダフェナシンの無作為化群間比較試験, 大塚篤史
- 受託研究 グラクソ・スミスクライン(株)(継続), 32 万円, A randomized, double-blind, placebo-controlled phase III study to evaluate the efficacy and safety of pazopanib as adjuvant therapy for subjects with localized or locally advanced RCC following nephrectomy (腎摘除術後の限局性または局所進行性腎細胞癌患者を対象に術後補助療法としてのパゾパニブの有効性および安全性を評価する無作為化、二重盲検、プラセボ対照、第Ⅲ相試験), 杉山 貴之
- 受託研究 アステラス製薬(株) (新規), 9 万円ゴナックス皮下注用 80mg・120mg 長期特定使用成績調査, 大園 誠一郎
- 受託研究 ファイザー(株) (新規), 21 万円, トビエース錠使用成績調査, 大園 誠一郎
- 受託研究 第一三共(株) (継続), 47 万円, ランマーク皮下注 120mg 長期使用に関する特定使用成績調査, 大園 誠一郎
- 受託研究 クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン(株) (継続), 156 万円, ADJUVANT AXITINIB TREATMENT OF RENAL CANCER: A RANDOMIZED DOUBLE-BLIND PHASE 3 STUDY OF ADJUVANT AXITINIB VS. PLACEBO IN SUBJECTS AT HIGH RISK OF RECURRENT RCC
アキシチニブによる腎癌の術後補助療法：腎細胞癌の再発リスクが高い患者を対象としたアキシチニブによる術後補助療法の第Ⅲ相プラセボ対照無作為化二重盲検比較試験, 杉山 貴之
- 受託研究 小野薬品工業(株) (継続), 56 万円, 血管新生阻害剤による治療歴を有する進行性又は転移性淡明細胞型腎細胞がん患者においてONO-4538/BMS-936558 とエベロリムスを比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験, 杉山 貴之
- 受託研究 アステラス製薬(株) (新規), 68 万円, ASP3550 第Ⅲ相試験 ―前立腺癌患者を対象としたゴセレリン酢酸塩対照非盲検群間比較試験―, 古瀬 洋
- 受託研究 (株)グリーンペプタイド (新規), 136 万円, ITK-1 の前立腺癌に対するプラセボ対照第Ⅲ相二重盲検比較試験―HLA-A24 陽性の去勢抵抗性ドセタキセル治療抵抗性前立腺癌患者を対象とした ITK-1 の有効性および安全性評価<検証的試験>―, 杉山 貴之
- 受託研究 バイエル薬品(株) (新規), 33 万円, 骨転移を有する日本人の症候性去勢抵抗性前立腺癌患者を対象とした BAY 88-8223 の非対照、非盲検、多施設共同、第Ⅱ相臨床試験, 杉山 貴之

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	1 件
(2) シンポジウム発表数	1 件	4 件
(3) 学会座長回数	2 件	10 件
(4) 学会開催回数	0 件	2 件
(5) 学会役員等回数	5 件	33 件

(6) 一般演題発表数	2 件	
-------------	-----	--

(1) 国際学会等開催・参加

3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

1. 大園誠一郎 : Kidney Session 2 : Asian NCCN guideline for renal cell carcinoma ; NCCN Asian Consensus Statement - Kidney Cancer. 2014 East-Asia Urologic Oncology Symposium, Mar. 2014, Seoul, Korea

4) 国際学会・会議等での座長

1. 大園誠一郎 : Symposium 6 : Focus on Benign and Malignant Prostate Disorders. 8th Japan-ASEAN Conference on Men's Health and Aging. Nagano, Japan. Nov 2013.
2. 大園誠一郎 : The 4th Congress of Asian Pacific Prostate Society. Okinawa, Japan. Mar 2014.

5) 一般発表

ポスター発表

1. Ozono S, Oyama M, Nozawa M, Fujimoto K, Kishida K, Tokuda N, Kimura G, Nishimura K, Matsubara A, Matsuyama H, Sugiyama T, Kamba T, Kume H, Masumori N, Oya M, Kanayama H, Naito S, Hinotsu S, Shimozuma K, Akaza H. : Multicenter phase II clinical trial of everolimus in Japanese patients with unresectable or metastatic renal cell carcinoma (mRCC) after failure of treatment with first-line tyrosine kinase inhibitor (TKI) therapy. 2014 Genitourinary Cancers Symposium. Feb 2014, San Francisco, USA.
2. Suzuki T, Otsuka A, Kato T, Aoki T, Nakanishi T, Furuse H, Ozono S. : Do intravesical prostatic protrusions affect the clinical outcomes of Dutasteride in patients with lower urinary tract symptoms suggestive of benign prostatic enlargement? 43rd Annual Meeting of the International Continence Society, Aug 2013, Barcelona, Spain.

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

1. 第 30 回浜松カンファレンス開催・2013.08. 浜松市
2. 第 20 回日本排尿機能学会開催 (副会長)・2013.09. 静岡市

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 大園誠一郎 : 筋層非浸潤性膀胱がんの treatment strategy. 第 101 回日本泌尿器科学会総会. 2013.04. 札幌市.

3) シンポジウム発表

1. 古瀬 洋 : High risk 筋層非浸潤性膀胱癌に対する 2nd TURBT. 第 101 回日本泌尿器科学会総会. 2013.04. 札幌市.
2. 永田 仁夫 : 上部尿路上皮癌に対する経尿道的手術 : 適応と実際. 第 22 回日本腎泌尿器疾患予防医学研究会. 2013.07. 仙台市.
3. 大塚 篤史 : 前立腺肥大症における下部尿路閉塞の非侵襲的評価方法. 第 63 回日本泌尿器科学会中部総会. 2013.11. 名古屋市.

4. 大園誠一郎：日本がん免疫学会・日本バイオセラピー学会合同シンポジウム：腎癌に対する完全ヒト型抗 PD-1 抗体 Nivolumab (ONO-4538/BMS-936558) . 第 26 回日本バイオセラピー学会学術集会総会. 2013.12. 盛岡市.

4) 座長をした学会名

1. 大園誠一郎：ケーススタディー1：高リスクの筋層非浸潤性膀胱癌，第 101 回日本泌尿器科学会総会，2013.04. 札幌市.
2. 大園誠一郎：シンポジウム 3：在宅での高齢者排尿管理・がん患者ケアの向上を目指して，第 26 回日本老年泌尿器科学会，2013.05. 横浜市.
3. 大園誠一郎：学会賞候補演題（臨床），第 20 回日本排尿機能学会，2013.09. 静岡市.
4. 大園誠一郎：口演 101：前立腺・男性生殖器・内分泌・ホルモン療法，第 51 回日本癌治療学会学術集会，2013.10. 京都市.
5. 大園誠一郎：特別企画 未来の名匠を発掘する 8：後世に伝えたい匠の技 4，第 27 回日本泌尿器内視鏡学会総会，2013.11. 名古屋市.
6. 大園誠一郎：イブニングシンポジウム 1：前立腺肥大症の今 -治療ストラテジーを再考する-，第 63 回日本泌尿器科学会中部総会，2013.11. 名古屋市.
7. 古瀬 洋：一般演題ポスター：腎腫瘍/手術 1，第 101 回日本泌尿器科学会総会，2013.04. 札幌市.
8. 古瀬 洋：一般演題ポスター：腹腔鏡・前立腺 2，第 51 回泌尿器内視鏡学会総会，2013.11. 名古屋市.
9. 古瀬 洋：一般演題ポスター：尿路上皮癌 3，第 63 回日本泌尿器科学会中部総会，2013.11. 名古屋市.
10. 大塚 篤史：シンポジウム 1：排尿障害とチーム医療，第 20 回日本排尿機能学会，2013.09. 静岡市.

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

大園誠一郎：日本泌尿器科学会代議員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会広報委員会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会会則検討委員会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会泌尿器科腫瘍薬物療法部門委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会総務委員会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会専門領域委員会泌尿器科腫瘍副部長

大園誠一郎：日本泌尿器科学会中部連合地方会運営委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会東海地方会運営委員

大園誠一郎：日本排尿機能学会理事

大園誠一郎：日本癌治療学会理事

大園誠一郎：日本癌治療学会関連学会連絡委員会委員長

大園誠一郎：日本癌治療学会・がん診療ガイドライン委員会尿路上皮がん・腎がん部門協力委員

大園誠一郎：日本泌尿器内視鏡学会評議員

大園誠一郎：日本老年泌尿器科学会評議員

大園誠一郎：日本透析医学会評議員
 大園誠一郎：日本腎臓学会学術評議員
 大園誠一郎：日本アンドロロジー学会評議員
 大園誠一郎：日本女性骨盤底医学会理事
 大園誠一郎：日本 Men's Health 医学会評議員
 大園誠一郎：腎癌研究会世話人・将来計画委員会委員長
 大園誠一郎：日本腎泌尿器疾患予防医学研究会世話人
 大園誠一郎：BCG 注入療法研究会世話人代表
 大園誠一郎：Japan Clinical Oncology Group (JCOG) 泌尿器科腫瘍グループ・グループ代表委員
 大園誠一郎：Japan Clinical Oncology Group (JCOG) 泌尿器科腫瘍グループ・UC-SWG 班長
 大園誠一郎：American Urological Association(AUA) International Member
 大園誠一郎：American Society of Clinical Oncology(ASCO) Member
 大園誠一郎：NCCN Asia Consensus Statement Panel Member
 大園誠一郎：Société Internationale d'Urologie(SIU) Member
 大園誠一郎：International Continence Society(ICS) Member
 古瀬 洋：日本泌尿器内視鏡学会評議員
 古瀬 洋：日本泌尿器科学会東海地方会運営委員
 石井 保夫：腎移植・血管外科研究会代表世話人
 石井 保夫：静岡腎不全研究会幹事
 石井 保夫：静岡腎移植研究会世話人
 石井 保夫：静岡県腎臓バンク理事
 大塚 篤史：東海排尿障害研究会世話人
 大塚 篤史：静岡県 LUTS 研究会世話人
 大塚 篤史：NPO 日本コンチネンス協会東海支部顧問

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	1 件	1 件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

1. 大園誠一郎：Japanese Journal of Clinical Oncology, Associate editor, PubMed/Medline 登録有, インパクトファクター有

(2) 外国の学術雑誌の編集

1. 大園誠一郎：IBIMA publishing, Editorial Board, PubMed/Medline 登録無, インパクトファクター無

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

- 大園誠一郎：Japanese Journal of Clinical Oncology 20 回 (Japan)
 大園誠一郎：GaBi journal 1 回 (Belgium)
 大園誠一郎：Urologia internationalis 1 回 (Switzerland)
 大園誠一郎：Prostate international 1 回 (Korea)

- 大園誠一郎：Cancer science 1回 (England)
 大園誠一郎：International Journal of Urology 1回 (Australia)
 大塚篤史：International Journal of Urology 1回 (Japan)
 大塚篤史：Expert Opinion On Drug Discovery 1回 (England)
 鈴木 孝尚：Canadian Urological Association Journal 2回 (Canada)

9 共同研究の実施状況

	平成 25 年度
(1) 国際共同研究	1 件
(2) 国内共同研究	11 件
(3) 学内共同研究	1 件

(1) 国際共同研究

1. 早期前立腺がんに対する PSA 監視療法：国際共同比較研究 (PRIAS-JAPAN)，日本（香川大学 笥善行）・欧州 8 カ国，平成 22 年 1 月 1 日～26 年 12 月 31 日

(2) 国内共同研究

1. High grade T1 膀胱癌の second TUR 後 T0 患者に対する BCG 膀胱内注入療法と無治療経過観察のランダム化第Ⅲ相試験 (JCOG1019)、Japan Clinical Oncology Group(JCOG)泌尿器科腫瘍研究グループ、平成 22 年 4 月～（登録期間：5 年間・追跡期間：登録終了後 5 年間）
2. T1a RCC の予後因子解析、小径(4cm 以下) 腎癌の予後規定因子に関する検討、腎癌研究会（大阪大学）、平成 22 年 12 月 1 日～平成 25 年 11 月 30 日
3. 乳頭状腎癌および嫌色素性腎細胞癌の有転移例に対する薬物治療の効果、腎癌研究会（防衛医科大学校）、平成 22 年 12 月 1 日～平成 25 年 11 月 30 日
4. 分子標的薬の治療効果の組織学的判定基準を確立を目的とした多施設共同研究、腎癌研究会（慶応大学）、平成 24 年 11 月～平成 27 年 10 月
5. テムシロリムス(TEM)の有効性や間質性肺疾患 (ILD) 等の副作用 (AE) の発症に関連する免疫反応を明らかにすることを目的とした多施設共同研究、J-TORIM (熊本大学)、平成 25 年 1 月～平成 28 年 12 月
6. 腎細胞患者を対象とした天然型インターフェロン α +ソラフェニブ併用療法の有効性および安全性の検討を目的とした多施設共同研究第Ⅱ相試験、JRCTG 研究会、平成 21 年 8 月～
7. 根治切除不能または転移性の腎細胞癌患者に対する 1st line TKI 療法不応後のエベロリムスの有効性および安全性の検討、J-ACTOR、平成 23 年 4 月～平成 27 年 3 月
8. 前立腺癌患者における背景因子、初期治療に関する実態調査（初回治療調査）、J-cap 研究会、平成 23 年 10 月～
9. 根治手術が実施された上部尿路癌におけるリンパ節郭清術の意義と術後の膀胱再発に関する調査研究、Japan Clinical Oncology Group(JCOG)泌尿器科腫瘍研究グループ、～2015 年 1 月
10. 表在性膀胱癌の再発に対する MMC と THP の膀胱腔内注入療法無作為化第三相試験、浜松医大泌尿器科及び関連 18 施設
11. 女性過活動膀胱患者に対する無作為化比較試験、浜松医大泌尿器科および関連施設、2013 年 3

月～2014年1月

(3) 学内共同研究

1. 生活習慣と泌尿器科疾患の遺伝環境表現型相関、病理学第一、平成21年6月～26年5月

10 産学共同研究

	平成25年度
産学共同研究	0件

11 受賞

(3) 国内での受賞

1. 高山 達也：日本泌尿器科学会総会賞、2013年4月
2. 永田 仁夫：日本泌尿器科学会東海地方会優秀演題賞、2013年12月

15 新聞、雑誌等による報道

1. 大園誠一郎：20～30代が発症ピーク「精巣がん」、静岡新聞、平成26年1月7日